

部屋

全てを吐き出してしまっごらん
僕にたったひとつできるのは
君の背負っているうちの少しでも
僕が肩代わりしてあげること
僕も、そして誰もが弱く儚いけれど
それはとても愛すべき事実

「哀しい」と
「辛い」と、そして
「嬉しい」と
「今日、こんなことがあった」と
さあ、みんな言っごらん
どんな小さなことも、残らず

(1984.2.20)